

かがりび 109号



2月 北ア唐松岳 雪山訓練



2024年 4月

かがりび山の会

表紙	2月 唐松岳 雪山訓練		
	目次-1	・・・	1
	目次-2	・・・	2
1	巻頭言	大下みつ江	・・・ 3
2	個12月29-03日 三重・和歌山・岐阜	近畿・東海3県を旅する	山本久美子 ・・・ 4-5
3	会1月06日 岩殿山	吉田うどん食する	飯島 玉枝 ・・・ 6-7
4	個1月07日 菊花山～倉岳山	がっつり歩く	小金井由紀子 ・・・ 8
5	個1月13-14日 茶臼山～北横岳	雪山を楽しむ	小金井由紀子 ・・・ 9
6	会1月13-14日 北横岳・縞枯山	初級雪山訓練	脇山江利奈 ・・・ 10-11
7	個1月16日 富山登山道整備活動	県連活動	野田 久生 ・・・ 12
8	個1月20日 黒斑山、蛇骨山	日帰り雪山歩き	水落 朋子 ・・・ 13
9	個1月20-21日 日白山 山スキー		小金井由紀子 ・・・ 14
10	県1月27日 県連第36回房総ハイキング	浪花～御宿	菊地美智子 ・・・ 15
11	個1月27日 奥久慈男体山	読図登山	飯島 玉枝 ・・・ 16
12	個1月28日 子ノ権現	足腰の神様詣で	大下みつ江 ・・・ 17
13	個1月28-31日 沖繩山旅		山本久美子 ・・・ 18-19
14	会2月3-4日 唐松岳中級雪山訓練		牧野 安弘 ・・・ 20-21
15	個2月10日 蔵王スノーシュー	樹氷を楽しむ	横田かすみ ・・・ 22
16	個2月11日 筑波連山縦走	トレーニング山行	小金井由紀子 ・・・ 23
17	個2月11日 甲子山	雪歩きを楽しむ	若林 康裕 ・・・ 24
18	個2月12日 スッカン沢	氷瀑を楽しむ	飯島 玉枝 ・・・ 25-26
19	個2月13日 幕山	鎌倉幕府開運街道を歩く	西山 昭則 ・・・ 27
20	個2月17-18日 観音山・旭岳	冬季限定の山に登る	伊東 春正 ・・・ 28
21	個2月23-24日 吾妻耶山・白毛門		小金井由紀子 ・・・ 29-30
22	個3月01日 諸沢の里ハイキング	春を楽しむ	小金井由紀子 ・・・ 31
23	個3月02日 リンリン道路・筑波山		山内 桂子 ・・・ 32
24	個3月03日 愛宕山	東京23区最高峰＋ミステリーツアー	大下みつ江 ・・・ 33
25	個3月03日 つくば古道・筑波山	ゼロ合目を訪ねて	野田 久生 ・・・ 34
26	会3月12日 高尾セブンサミッツ	がっつり歩こう	廣田 聡子 ・・・ 35-36
27	個3月22日 盛金山	お花を楽しむ	小金井由紀子 ・・・ 37
28	個3月28日 奥久慈男体山	道なき道に行く	大橋 宣子 ・・・ 38
29	個3月30日 横根山	イワウチワを訪ねて	脇山江利奈 ・・・ 39
30	個3月31日 御前山	奥多摩湖～奥多摩駅縦走	野田 久生 ・・・ 40
31	個3月 富津市梨沢地区登山道整備活動		野田 久生 ・・・ 41

以降 目次-2に続く

32	投稿	2016～2023年度 会財務状況グラフ	総務部	・・・	42
33	投稿	会長の6年間を振り返って	野田久生	・・・	43
34	投稿	山梨、金峰山の古道復活へ（2.10新聞記事）	野田久生	・・・	44
35	例会議事録	1月10日	総務部	・・・	45-46
36	例会議事録	1月24日	総務部	・・・	47-48
37	例会議事録	2月14日	総務部	・・・	49-50
38	例会議事録	2月28日	総務部	・・・	51-53
39	例会議事録	3月13日	総務部	・・・	54-55
40	例会議事録	3月27日	総務部	・・・	56-58
41	山行実績	2024年1～3月山行実績	山行部	・・・	59-61
42	山行実績	2023年度 山行実績一覧表	山行部	・・・	62-63
43		会員情報・編集後記・ひとこと	野田久生	・・・	64
	裏表紙	早春のつくば古道			

前号（108号）は、山行報告35件、65ページでした。（表裏表紙除く）

巻頭言

2024年3月 大下みつ江

私の田舎は群馬県です。美しい山々と温泉、泉質も多種有り楽しむ事が出来ます。そんな田舎の母は3月で98歳になりました。旅好き、温泉好きは母に似たのでしょうか。母とは定番のハワイ、グワムその後は車での温泉旅、2人の時には母を目的の場所まで送り “ここで待っててね、駐車場に置いてくるから” しかし戻ると母の姿が見えない?! 探し回ること数分 “どうして動いたの、探したよ!! 母曰く “余りにも遅いので探しに行った” “来ないのでお土産を見てた”とこの様な事が何回も有り、又は北海道の北斗駅では駐車場がかなり遠い場所の為、持参した椅子に座って待ってもらった。所が私の確認不足でそこはバスのみ入れる場所だった。20M位離れたところからジェスチャー、手招き、呼んでも来ない、動こうとしない!! 気が付いている雰囲気なのに!? 母曰く “座って動かないで、と言ったから” 空気を読んでよ!! この様な疲れる? 笑える? エピソードは山ほどある。そんな母も昨年体調崩して入院した。足のむくみが酷く病院の診断は“高齢の為”と3年間言われてきた。病院を総合病院に替え診察、その日に即入院、診断名 “心不全” そして今年早々圧迫骨折で入院した。年齢を考えると退院できないかも!! そんな心配をよそに二例とも奇跡の早々の退院。圧迫骨折は楚々治るものでは無い。今もコルセットを離せない。元気になりつつあるが心配である。私も母を見習い健康に充分気を付けているつもりだがこの所身体のメンテナンスが必要になって来た。山の会に入会前は人任せ、山に登れた感激のみでした。山の事故、遭難、滑落、ケガ、骨折と毎年沢山のニュースを見ると身に迫る場面がある。23年度は40回近くの山行が出来たのも、かがりびの皆さんのおかげと感謝しています。入会して三年半、登山前の計画書の作成、山行登山、その後の記録書提出。PCで計画書を作成出来る様になったのも、指導してくれた吉川さんのお陰です。感謝に堪えません。

日帰りの山行、山小屋泊、縦走、テント泊の楽しさも知った。中ノ岳の重い荷物と急な登山道、テント泊でのバーベキュー、蛭ヶ岳の山小屋での鹿肉の鍋、奥穂高、前穂高の青い空と大自然を満喫した。これからどの位の山を仲間と共に楽しめるだろうか。山と海と自然を満喫して行きたい。かがりび山の会の会則の

“我々は、美しい山々や自然を愛し、人と和し、山行を楽しみ、自己を高める事を目的とする人の輪である”

この言葉を肝に銘じて。

私は山を楽しむために入会したのだから!!



目指すは奥穂・前穂高



夜明けの富士山



ミニ盆栽 桜



石垣島 マンタ

山行記録書

山名		ひき岩群/猿投山/金華山		山域	三重・和歌山・岐阜	山行目的	日本百低山の絶景		
ルート	尾根	経験者	無し	氏名				交通機関	車+カーフェリー
山行期間	2023/12/29	金	～	2024/1/3	水	宿泊	三泊以上		
宿泊手段	費用		集合		自宅	帰	柏	9時頃	

日程・コース

2023/1/29・鬼ヶ城

道の駅長島マンボウ8:30⇒鬼ヶ島第一センター⇒9:00⇒鬼ヶ城コース→(0:50)終点→(0:40)鬼ヶ島第一センター着
 三重県鬼ヶ城は世界遺産で国の天然記念物、断崖絶壁のスリルあるコースを歩きました。浸食と隆起を繰り返した奇岩の連続、青い熊野灘を望みながら気持ち良い歩きでした。道の駅長島マンボウで初めて食べた人気のマンボウ串焼きが思いのほか美味しかったです。

2023/12/30・ひき岩群と岩屋山

道の駅すさみ7:00⇒ふるさと自然公園センター⇒8:00⇒遊歩道入口(0:30)→第一展望→第二展望→(1:00)岩屋山入
 →岩屋第一観音→周回後岩屋山入口(1:00)→ふるさと自然公園センター⇒12:40
 和歌山県の天然記念物、田辺市に奇怪な形の岩山が並ぶ様子が大きなヒキガエルが天を仰いで雨を呼ぶ姿に似ています。整備された遊歩道を歩きますがコースから外れると岩から転げ落ちそうです。田辺湾を臨む絶景の眺望でした。ひき岩群から県道を北上した左手の岩屋観音参道から登ります。岩場に点在する新西国三十三番霊場を巡ると岩屋山を周回することが出来ます。ここから眺めるひき岩群と海のコラボ絶景は美しかったです。

2023/12/31猿投山(さなげやま)

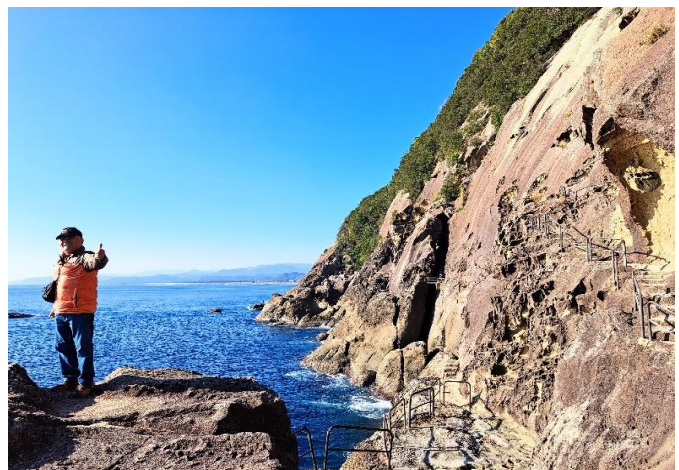
猿投神社第一⇒9:55⇒御門杉(0:30)→大岩展望台(0:30)→猿投山展望台(0:20)→猿投神社東の宮(0:30)→猿投山山
 (0:25)→東の宮分岐(0:25)→御門杉(0:45)→猿投神社第一⇒14:00
 愛知県豊田市猿投神社麓に霊山として崇められ、地元にも大人気の猿投山、神社から2km位で御門杉が登山口です。登山道は階段が多いですが歩き易く、大晦日でも多様な大勢の登山者と出会いました。大岩展望台からはビューポイントの人気の撮影スポットでした。奥社を過ぎカエル岩を過ぎると猿投山山頂に到達します。歴史と神秘を感ずるのが人気の所以と分かる楽しい山でした。

2024/1/1金華山(岐阜城)

岐阜公園堤外第2⇒めい想の小径(0:10)→馬の背分岐(0:10)→馬の背コース(0:40)金華山山頂/岐阜城→周回→百
 曲登山道(0:50)→正法寺(0:15)→岐阜公園堤外第2⇒12:40
 岐阜城を山頂に配し殆どの人がロープウェイ登頂の金華山、岩場の面白い馬の背コースを登りました。斎藤道三や織田信長が城主の人気の山城はお天気に恵まれ元旦も賑わい、天守閣から蛇行する長良川、冠雪の伊吹山や御嶽山の絶景でした。人の少ない百曲がりを下り舗道へ戻りました。寄り道で正法寺の日本三大大仏を拝観しました。



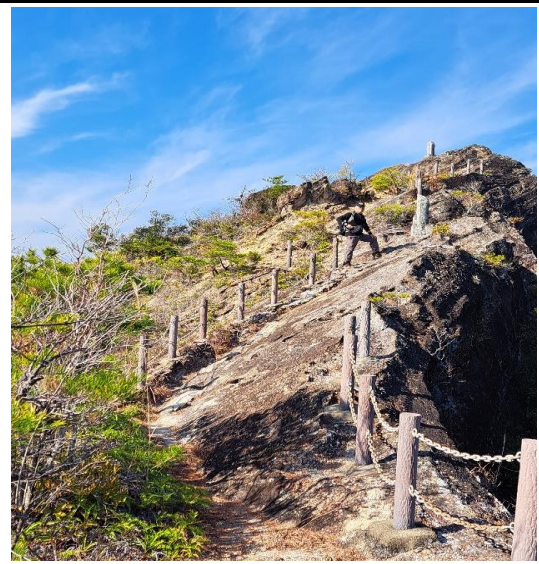
鬼ヶ城



熊野灘を望む



初めてのマンボウを食べ



ひき岩群のコース



カエル岩の連なり



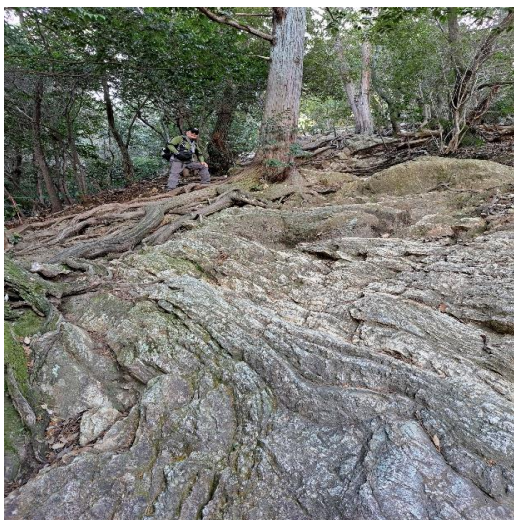
猿投山展望台



猿投山の大岩



猿投山山頂



金華山馬の背コースを登る



金華山山頂の岐阜城

山行記録書

企画		計画者		大下 みつ江		記録者		飯島 玉枝	
山名	岩殿山		山域	大菩薩・道志山系		山行目的	新春山行		
ルート	尾根	経験者	有り	氏名	大下		交通機関	電車	
山行期間	2024/1/6	土	～			日帰り			
宿泊手段		費用	休日パス2720円		集合	柏駅	帰 柏	17:46	



■特記事項(コースの特徴・注意事項)
 富士山展望の山。低山ながら鎖場や絶景ポイント、急途もあり変化に富むコース。「ハイキングコース」というものの危険箇所もあり注意が必要。

■参加者(15名)
 CL大下、SL若林、飯島、水落、小金井、大橋、菊地、野田、川口、中村、脇山、小竹、山本(N)、山本(K)、廣田(敬称略)

■リーダーコメント
 向かう電車の窓から富士山が見え、大月駅では凜とした空気と青空が迎えてくれた。朝の登山道は霜に足を取られ滑る所もあった。岩殿山から富士山が綺麗に見えた。クサリ、ロープを使う岩場も多かったが、皆で声を掛け合いスムーズに出来た。怪我人も無く無事下山出来たのも皆さんの協力が有ったこそこの山行でした。SLを申し出て下さった若林さん、皆さんの様子を見ながらリードして頂き感謝です。

日程・コース
 柏6:06⇒大月8:45 9:00歩き出し(車道)→9:35畑倉登山口→9:50鬼の岩屋→10:30岩殿山山頂(休憩15分)→10:50城跡→(分岐を円山公園方向へ)→11:20送電線鉄塔→11:30兜岩手前の鎖場→11:40兜岩(その先の岩場には進入禁止の看板)→10:50林間コース中の難所(トラロープのある滑りやすい急斜面)→12:10天神山山頂(休憩15分)→12:45稚児落とし(5分ほど眺望、写真撮影)→(鎖場を含む樹林帯の急斜面を下り)→13:30浅利登山口(県道512号)→13:50うどんの吉田屋(うどんをいただき)→15:05大月駅(解散) 15:27(中央線特別快速東京行き)⇒17:02 東京17:12⇒(上野東京ライン取手ゆき)⇒17:46柏
 畑倉登山口～浅利登山口まで6.3Km 登り598m
 くだり601m、4時間半

■山行報告
 新春らしく晴れた空と富士山を望みつつ、葉を落とした冬の明るい樹林帯を歩いた。朝のうちは、足元に霜柱もあり少し寒かったが、下山する頃には暑いくらいの陽気だった。兜岩や稚児落としの付近ではちょっと怖いような景観も見られたが、幸い、誰も怪我無く無事に下山できた。長い休憩を2回もとった割には、浅利登山口の車道に出たのはピッタリ計画通りの時刻だった。CLが事前にも当日道の途中でも吉田うどんの方と電話連絡しておいてくれたので15名という大勢で座敷にあげて貰って、腰の強い太麺を美味しく食した。また、昼休憩ではCLが全員に蜜柑を配ってくれるし、歩くのが辛そうなメンバーがいなかSLとCLで気配りしてくれ至れり尽くせりだった。新年らしく感謝の心で下山できた。





岩殿山頂からの富士山



危険箇所もある



稚児落としへ



稚児落としからの眺め



山行記録書

個人		計画者		小金井 由紀子	記録者	小金井 由紀子
山名	菊花山～倉岳山		山域	道志・大菩薩	山行目的	ガッツリ歩く
ルート	尾根	経験者	無し	氏名	交通機関	電車
山行期間	2024/1/7	日	～		日帰り	
宿泊手段		費用	12,000円	集合	帰 柏	



■特記事項(コースの特徴・注意事項)
上野原アルプスの一部を歩く。アップダウンが多い。
各山頂からの富士山の眺めは素晴らしい。

■参加者(名)
小金井

■リーダーコメント

日程・コース

500宿→菊花山登山口→830九鬼山→1000高指山→1130高畑山→1230倉岳山→1300立野峠→1410梁川駅⇒柏

■山行報告

前日の会山行「岩殿山」は15名で賑やかな山行であった。下山後は柏に戻らず大月に宿泊。
当日5時にホテル出発、まずは菊花山を目指す。ここがなかなかの急登の岩場でよく見えない中、慎重に登る(ここで滑落死亡事故があったな・・・と思い出す、なるほど、滑ったらアウトだ)。ノンストップで九鬼山へ到着、富士山がドカンと見える、やっぱり雪の富士山は最高だ!!
ここからは尾根歩き、振り返れば富士山も見られて快適なトレイルハイクと考えていたが、甘かった・・・100m下っては100m上る、、こんなことを何度繰り返したのか。倉岳山に着いた時には疲れて歩く気力を失い、歩けなくなる前に下山した。

歩いたピーク



九鬼山山頂から



山行記録書

募集		R6.1.4		計画者	小金井 由紀子	記録者	小金井 由紀子	
山名	茶臼山・縞枯山		山域	北八ヶ岳	山行目的	雪山を楽しむ		
ルート	尾根	経験者	有り	氏名	小金井由紀子		交通機関	電車・バス
山行期間	2024/1/13	土	～	2024/1/14	日	宿泊	1	
宿泊手段	山小屋	費用	28,500円		集合	柏駅	帰 柏	



■特記事項(コースの特徴・注意事項)
冬の北八ヶ岳の人気ルートを歩く。この時期白駒池は凍っていて池の上を歩くことができる。小屋の食事はとても美味しくトイレも暖かい！

■参加者(名)
小金井(CL) 荒井(SL) 小野寺 神原 会員外1名

■リーダーコメント
会の雪山入門の日程と合わせて企画した。入門参加者とハイタッチしたい！その思いで時計を見ながら歩く。想定通り坪庭で会えたこと、めちゃ嬉しかった。我ながら上出来の計画だと思った。

日程・コース	1日目 5:46柏⇒新宿7:00 ⇒ (あずさ1号) 9:07茅野925⇒10:17渋の湯10:40→13:00高見石小屋13:40→白駒池→1410青苔荘(所要時間3時間半)
	2日目 7:20青苔荘→9:30茶臼山9:40→10:30縞枯山→11:10縞枯山荘→12:40北横岳→13:40ロープウェイ山頂⇒14:00バス乗り場15:00⇒茅野⇒柏 (6時間50分)

■山行報告
1日目：車窓からくっきり見えるはずの八ヶ岳は雲に隠れていた。渋の湯に着いた時には雪も舞い、風もそこそこあり、一枚多く着込んで出発。樹林帯の中は風の影響はなかったが、雪が少なく、岩とのミックスで歩きづらい。高見石小屋手前の急登は、遮る木々もなく、雪風をまともに受け我慢の時間だ、寒くてたまらず高見石小屋で暖を取る、人気のあげばんは美味しかった。凍っている白駒池を歩き青苔荘に到着、小屋番さんのおもてなしに感謝、食事も美味しくいただき、早々に就寝。
2日目：寒いが快晴、テンション上がる。前日の積雪で少しは歩きやすくなったかな？縞枯山展望台からは、南八ヶ岳はもちろん、南・中央・北アルプス、西上州の山々がぐるーっと一望できた、この景色を見たくて歩いて来たんだ、晴れてくれてありがとう。縞枯山から北横岳は人気の山とあって、一気に登山者が増える。登りも下りも渋滞気味で人の多さに少々疲れるが予定通りに北横岳に到着！！エビのしっぽは見当たらず、岩も露出して、このまま春になっちゃうのかと心配になる。
帰路はロープウェイ利用でバスと電車で帰柏、少々費用は嵩むが、こういったセレブ(?)山行もいいものだ。

健脚5人組

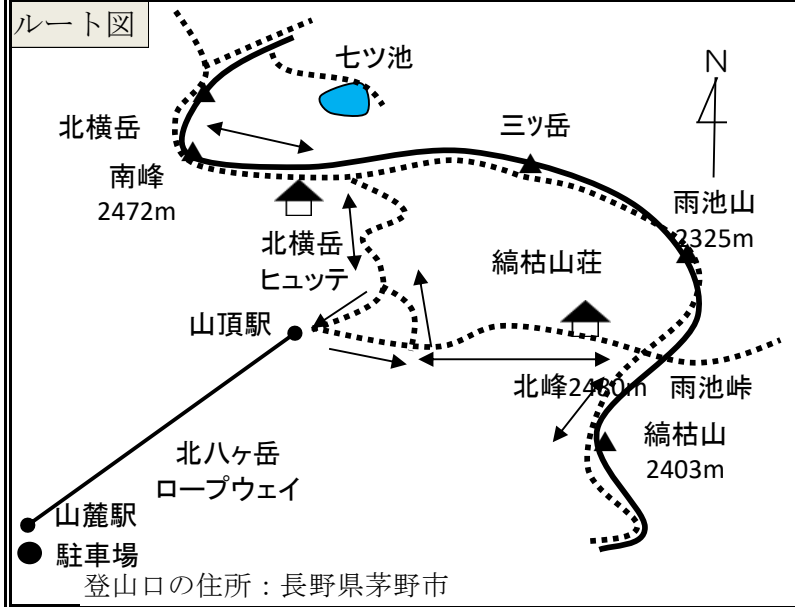


茶臼山から見る南八ヶ岳



山行記録書

訓練	R6. 1. 20	計画者	若林 康裕	記録者	脇山江利奈
山名	北横岳・縞枯山	山域	八ヶ岳	山行目的	安全登山学校（雪山入門）
ルート	尾根	経験者	有り	氏名	若林康裕
山行期間	2024/1/13	土	～	2024/1/14	日
宿泊手段	山小屋	費用	18,200円	集合	18:30
				柏駅	帰 柏



■特記事項(コースの特徴・注意事項)
 雪山としては比較的登りやすい北横岳と縞枯山。一面の雪景色を楽しみながら絶景の山頂へ。雪山の魅力堪能しましょう。

危険箇所：山頂直下の急斜面。

■参加者(名)
 若林 飯島 伊東 佐々木 脇山
 廣田 伊藤 (則)

■リーダーコメント
 降雪時と快晴の雪山の違った表情が見れたかと思えます。グローブを装着したままでのアイゼンの着け方、雪上の歩き方、雪山での注意点などを体験できました。これで新人の皆さんが雪山を好きになってくれれば行った甲斐があったというものです。

日程	1/13：柏5:40⇒常磐道⇒佐久南IC8:40⇒北八ヶ岳ロープウェイ駐車場 山麓駅9:50⇒山頂駅10:50⇒20⇒縞枯山荘→70⇒縞枯山・展望台→50⇒14:00縞枯山荘(泊)
コース	1/14：縞枯山荘8:00⇒北横岳ヒュッテ9:30⇒10⇒北横岳南峰10:15⇒北横岳北峰10:30⇒北横岳ヒュッテ 10:00⇒山頂駅12:00⇒駐車場・昼食12:20～13:00⇒白樺湖すずらの湯13:50～14:30 佐久IC 15:20⇒横川SA16:00⇒柏18:30

■山行報告 1/13 縞枯山荘に到着し荷物を置き縞枯山に出発、途中、グローブをはめている為、てこぶりながらアイゼンを装着、小雪が舞う中、頂上を通過し展望台へ、強風と小雪で展望はなく真っ白な世界でしたが見事な樹氷に感動。小屋に戻り、夕飯はお楽しみの山料理で野菜たっぷち鍋、じゃがりこ、チーズガレット、うどんを堪能し大満足。その夜は気温がマイナス10℃と冷え込み厳しい寒さとなりました。

1/14 昨日の雪も止み晴天となり白い雪と青い空のコントラストが美しさに皆、心ウキウキと出発。溶岩台地の坪庭、シラビソの中を歩き、多くの登山者として違いながら北横岳ヒュッテに到着、南峰、北峰に到着すると目の前に蓼科山がドンと現れその後方、左右に全アルプスの圧巻の景色が広がり、皆、大興奮、新人の私たちはアルプスへ憧れを募らせました。その後、ロープウェイで下山し山麓駅で美味しい昼食をいただき、白樺湖沿いにある温泉で入浴、柏へと向かいました。おかげさまで大いに楽しい雪山登山訓練ができました。有難うございました。



雪上&グローブでのアイゼン装着に一苦労... いざ出発！



縞枯山の山頂にて



夕食：お楽しみの山小屋での夕食



縞枯山・山荘出発

北横岳ヒュッテにて休憩



北横岳北峰に到着・下山

2024年1月16日（火）富山登山道復興作業報告

野田作成

房総復興PJ活動の一環として、富山の登山道の整備を行いました。昨年11月の県連合同ハイク時に登山道に材木が散乱して歩きにくかったので、それを片付ける目的で行きました。現状は随分整理されており、実際の作業は少ないものになりました。

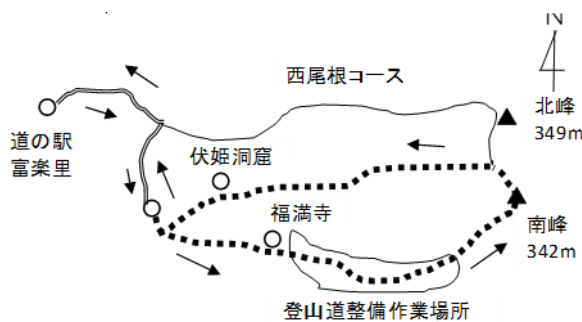
柏自宅発 6:20⇒16号⇒渋滞・・穴川 IC7:50⇒高速道路⇒鋸南富山 IC8:50⇒道の駅富楽里
着 9:00 (111 km) 快晴 別の会と合流 ⇒登山道近くのPまで行く

P 発 9:30⇒福満寺⇒登山道の整備（材木等片付け）⇒南峰 10:30⇒下山路分岐（一休み）
11:00⇒伏姫籠穴見物 12:00-12:30⇒登山口P⇒道の駅富楽里着 13:00（解散）

参加者 田中（ふわく HC）車、羽鳥（東葛）バス、野田（かがりび）車 3人

報告 平日なので16号以外は混雑せずに道の駅富楽里まで行く。ここで3人合流して出発。登山口近くのPまで行く。去年11月時は登山路にかなりの材木が散乱して歩きにくかったが、今回は随分整理されていた。そのため登山道の整備も残りの材木の撤去程度であり手間はかからなかった。下山路は以前通れなかったがその後整備された伏姫籠穴コースを下山した。かなり整備されており歩行に支障はなく、多くの登山者が利用しているようであった。

登山道は定期的に整備する必要がある、今後も必要に応じて活動を行う。



福満寺コース登山道の材木の片付け



伏姫籠穴コース 登山道の材木の片付け

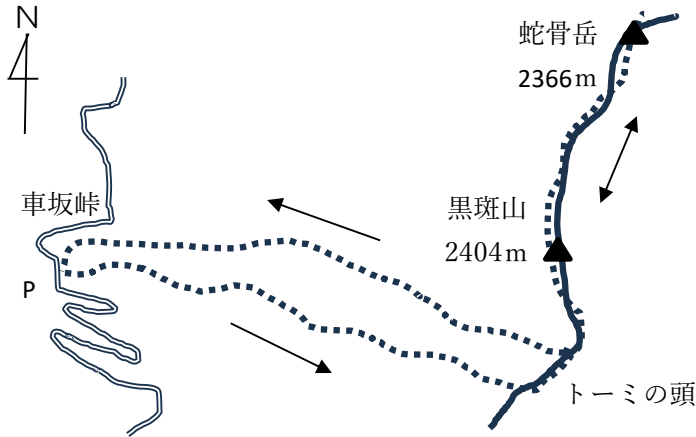


福満寺コース登山道の材木の片付け

山行記録書

個人		計画者		荒井 一昭		記録者		水落 朋子	
山名	黒斑山・蛇骨岳		山域	浅間山		山行目的	日帰り雪歩き		
ルート	尾根	経験者	有り	氏名	荒井、相澤		交通機関	車	
山行期間	2024/1/20	土	～			日帰り			
宿泊手段		費用	7,120円		集合	ピックアップ	帰 柏	20:30	

ルート図



登山口の住所：長野県小諸市鎌原

■特記事項(コースの特徴・注意事項)

車坂峠から黒斑山・蛇骨岳を往復する雪山初心者向けコース。天気がよければ、雪を塗した浅間山がガトーショコラのように見られる。
危険箇所：トーミの頭から蛇骨岳までの区間に火口側へ切れ落ちた箇所があり、歩行注意。

■参加者 (6名)

荒井 (CL), 相澤 (SL), 小野寺 (装備), 大橋 (救急), 飯島 (会計), 水落 (記録)

■リーダーコメント

積雪不足のため大菩薩嶺への会山行を中止し、雪の多い黒斑山への個人山行に変更した。曇り後雪という生憎の天候で、ガトーショコラのような浅間山を眺めることは叶わなかったが、山行目的である「日帰り雪歩き」は十分堪能出来たものと思う。参加者の皆さん、お疲れさまでした。

日程・コース	柏5:00 ⇒ 5:30 流山IC ⇒ 佐久北IC ⇒ 9:25 高峰高原ビジターセンター駐車場
	駐車場 10:00 → (1:20) → 11:20 槍ヶ鞘 11:30 → (10) → 11:40 トーミの頭 11:45 → (20) → 12:05 黒斑山 12:10 → (30) → 12:40 蛇骨岳 12:55 → (30) → 13:25 黒斑山 13:30 → (15) → 13:45 トーミの頭 → (50) → 14:35 駐車場 歩行時間：3時間55分、所要時間：4時間35分
	入浴(高峰高原ホテル700円) 15:50 ⇒ 佐久北IC ⇒ (途中夕食) ⇒ 19:50 流山IC 帰柏20:30

■山行報告 今冬は雪が少なく当初計画の大菩薩嶺では目的の雪歩きができないとの判断から中止し、仕切り直して計画した山行。黒斑山周辺も雪は少なく、往路は駐車場まで路面に雪が無かった。高速道路では事故渋滞に合い、歩き始めは計画より1時間半遅れてしまった。行けるところまで行こうということで出発。天気は曇り。風はほぼ無く、意外に寒くない。新雪はほぼ無かったため、ワカンではなくアイゼンを装着。個人的には今シーズン初の雪歩き。ザクザクとした雪の感触が心地よい。樹林帯の中を登っていくと暑いぐらいだった。やがて槍ヶ鞘に到着。正面には雪を塗した浅間山がガトーショコラのように見えるはずが…、ガスで真っ白。残念。ここからは東側が切れ落ちた稜線上を歩く。少し雪が降り始め、風も出てきた。水墨画のような冬らしい景色もまたいいものだ。冬の景色を楽しみながら予定どおり蛇骨岳に到着。風が強くなり始めたので各自温かいものを飲むなどして対策。来た道をトーミの頭まで戻り、ここで稜線上からの景色とはお別れ。樹林帯の中に入ると風は弱まり少しほっとする。順調に下山し、結果的にはほぼ予定どおりの時間に駐車場に到着。路面も真っ白になっていた。温泉で温まった後は、雪の中、市街地までの山道を気を付けて運転。途中で雨に変わった。行き先を変えたことで雪歩きを楽しむことができた。CL様、SL様、参加者の皆さん、ありがとうございました。



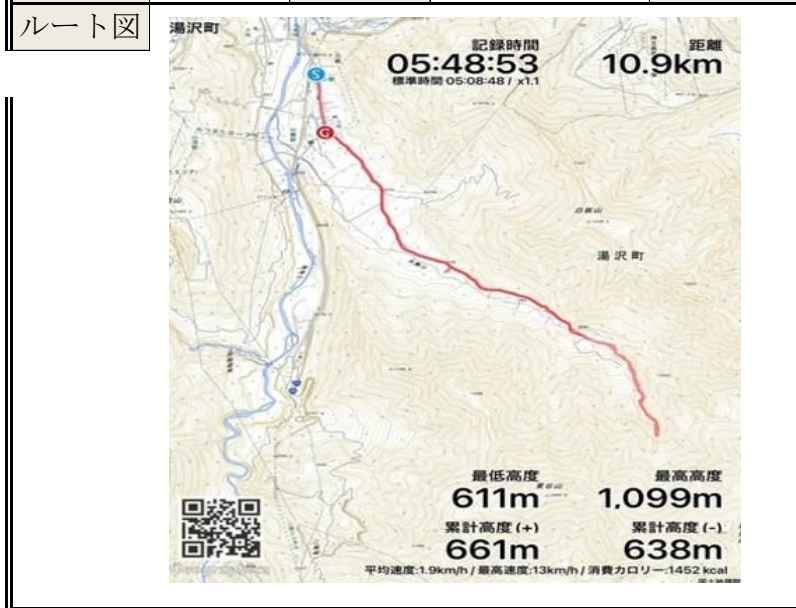
黒斑山山頂にて



← トーミの頭の高度感！

山行記録書

個人		計画者		小金井 由紀子		記録者		小金井 由紀子	
山名	日白山		山域	上越		山行目的	雪崩訓練		
ルート	尾根	経験者	無し	氏名			交通機関	車	
山行期間	2024/1/20	土	～	2024/1/21	日	宿泊	一泊二日		
宿泊手段	民宿	費用	10,000円		集合	帰 柏			



■特記事項(コースの特徴・注意事項)
 日白山は山スキーの中では人気の山である。今回は、敢えて誰も入っていない北側の斜面からルートを見つけてみる

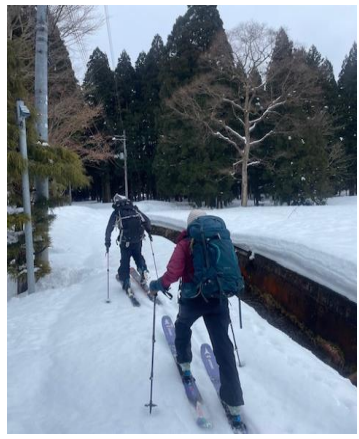
■参加者(名)
 小金井 会員外2名

■リーダーコメント

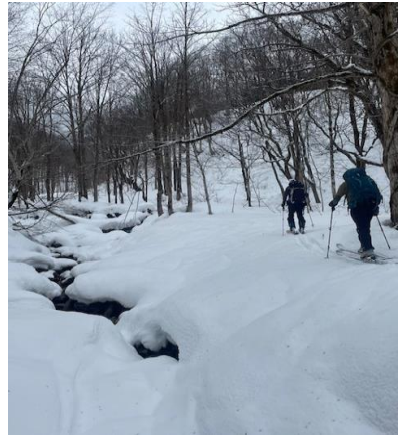
日程	ス・8:00道の駅みつまた→11:40 1100m地点→14:00道の駅みつまた
----	--

■山行報告
 日白山へのルートは二居集落から東谷山を通るルートが一般的であるが、水無川から谷沿いをアプローチする北面ルートを試みる。気温も高く、雪が少ないのが気になるが、シールを付けてスキー歩行開始。途中までは林道を快適に登るが、その後は修行の歩行。歩けるルートが限られて右に左に方向転換の連続、ギリギリのスノーブリッジを越え、時にはスキーを外し沢を渡る。地形図を確認しながらこの後は時間的にも無理と判断して1100m地点で終了。休憩後、滑走体制に入るが、狭いつりランで、大木を避けるのも一苦勞、沢側に転べばドボン、緊張の連続であったが、何とかスタート地点まで戻る。昨今人気のBCはリフトで頂上まで行きゲレンデ外を滑ることを意味するようだが(一般的に)、今日のようなルートが本来の山スキーでの楽しみ方ではないかと感じた。

歩き出しは民家の脇から



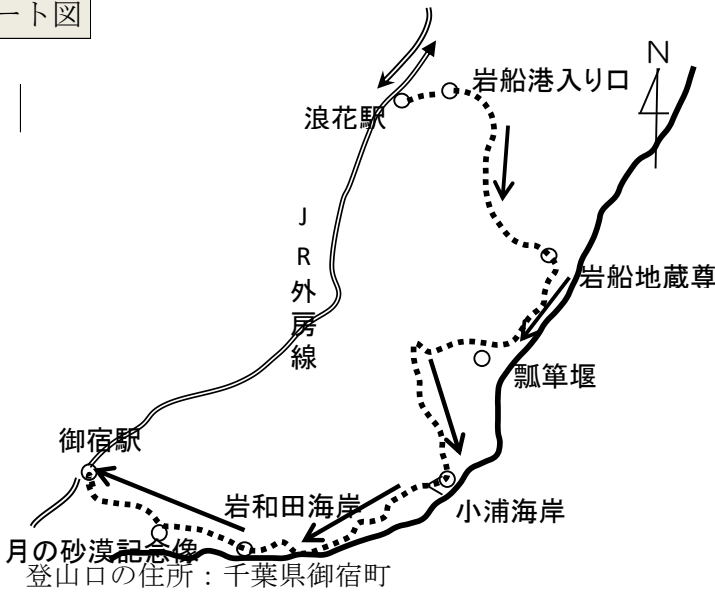
高度を上げる



山行記録書

特別		計画者	大橋 宣子	記録者	菊地 美智子	
山名	浪花駅～御宿駅	山域	房総海岸	山行目的	今年こそ外洋を見に！	
ルート	経験者	有り	氏名	野田久生 大橋宣子	交通機関	電車
山行期間	2024. 1. 27	～		日帰り		
宿泊手段	費用	3600円	集合	柏駅5:45	帰 柏	16:14

ルート図



■特記事項(コースの特徴・注意事項) 千葉県連『房総ハイキング』浪花駅～御宿駅 房総海岸を歩く歴史探訪のオーシャントレイルコース。各会で行動するが他会との交流を図る。

■参加者(4名) 大橋 (CL) 野田 (SL) 堂添 菊地

■リーダーコメント
千葉県連の6の山岳会が参加し、女性が多く、常々楽しそうなおしゃべりで 会の隔たりなく交流出来ました。雄大な太平洋と海岸線を望むハイキングは一味違った楽しみとなりました。月の砂漠像を見ていると思わず 月の砂漠をはるばると～と歌ってしまいましたね。これからの千葉県連の企画も奮ってご参加ください。

日程・コース

柏5:55⇒6:03新松戸6:11⇒6:26西船橋6:32⇒(総武線)⇒6:55千葉7:10⇒(外房線)⇒7:59上総一ノ宮8:03⇒8:24浪花駅 8:45⇒9:00八幡神社9:10⇒岩船港入り口⇒9:35岩船地蔵尊9:50⇒10:20瓢箪堰10:30⇒尾根道⇒11:20小浦海岸《昼食》12:00⇒海洋生物研究所12:10⇒メキシコ記念塔入り口⇒12:30記念塔12:50⇒13:00岩和田海岸⇒月の砂漠海岸⇒13:20月の砂漠像13:30⇒13:45御宿駅14:08⇒柏駅16:14解散 御宿駅発 14:08 14:41 15:10 16:05特 16:22

■山行報告 柏駅を4人で出発しましたが千葉駅7:10発の電車では大人数になっていました。浪花駅に着き野田理事長のあいさつの後、千葉県連の房総ハイキングは49人で始まりました。会話が弾むゆっくりとしたペースで八幡神社に向かいました。港にある岩船地蔵尊からは太平洋がエメラルドグリーンに輝いていました。瓢箪堰から山道に入り1箇所滑りやすい場所があったが迷わず歩くことができました。小浦海岸で昼食を取り千葉県連が、海と砂浜のリアス式海岸を贅沢に独占してしまいました。天気が良く波のしぶきも迫力があり海の広さに背骨が延びるような空気を吸い込みました。ドン・ロドリゴ一行が岩和田海岸沖で座礁しこの地の人々に助けられた。修好記念の丘にあるメキシコ記念塔からの眺めは秀逸でした。岩和田海岸ではサーファーがこの季節でも50人以上いましたよ。月の砂漠のラクダの銅像は本当に美しいものでした。他の会の方とも山の話ができ、楽しい1日でした。



小浦海岸

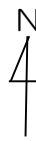
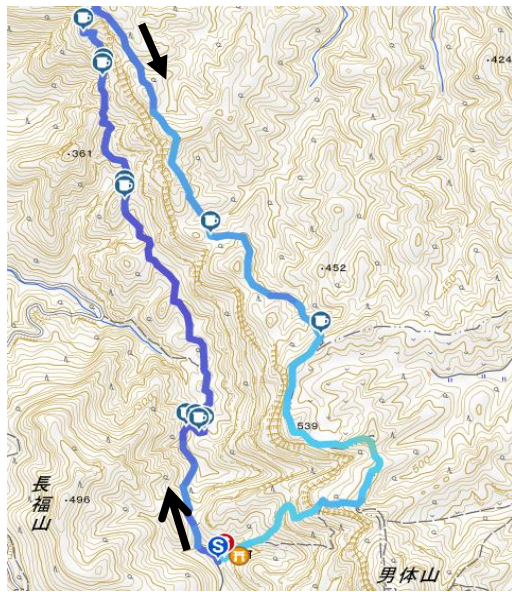


メキシコ記念塔

山行記録書

個人		計画者		小金井 由紀子	記録者	飯島 玉枝
山名	奥久慈男体山	山域	八溝山系	山行目的	読図登山	
ルート	尾根	経験者	無し	氏名	交通機関	車
山行期間	2024/1/27	土	～	日帰り		
宿泊手段		費用	3,000円	集合	柏5:30	帰 柏 18:20

ルート図



■特記事項(コースの特徴・注意事項)
 消えた集落「鹿野沢」を探して。地図とコンパスを使い確認しながら歩いてみた。バリエーションルート。踏み跡らしきものとヤママップの投稿者の軌跡を頼りに、現場の地形を確認しながら進んだ。

■参加者(名)
 CL小金井、SL山内、水落、飯島(4名)

■リーダーコメント
 シモンさんも歩いた鹿野沢古道を行きたくて計画。地形図からイメージするのと実際とでは尾根の形や勾配が違う。ルートミスして戻らずに登れそうな斜面を四つん這いになりながら登ったが、落ちたらただでは済まず、素直に間違った場所まで戻るべきだった。40, 50, 60, 70代の個性豊かな4人、あっちだ、こっちやだと迷いながらもなんとか尾根に出た時はホッとした。

日程
 柏IC5:50→男体神社駐車場7:35/7:50スタート→樹林帯から沢沿いにルートを取り→10:00～10:30道のない急斜面を登って尾根へ→10:30尾根を反対側を下り(補助ロープ使用)平坦地で大休憩→杉林の管理用の道らしき所を進み→トラロープ設置箇所を二つほど通過して下り→12:10尾根に上がる、昼食→12:30水根分岐(登山道に出る)→(登山道がカチコチに凍結した所もあったが)13:50男体山への分岐点→14:10白木尾根への分岐点→15:30男体神社駐車場⇒18:10柏IC
 ※水根分岐までかなり時間がかかったため、予定していた後半部分はカット。

山行報告

男体神社駐車場は、民家の脇の細い道で、看板があっても進んでいいのか迷うような細い道だが、250mほどで神社手前の駐車場に着いた。長福山方向に数分進んだところからバリエーションルート。まもなく、石垣や古井戸など邸の痕跡らしきものに出会うが、「鹿野沢」なのかどうか確信できず。CLが予め入力してきたジオグラフィカ、SLが拡大してきた紙地図、他2名がダウンロードして来たヤママップ投稿者の軌跡を頼りに、相談しながら道なき道を進んだ。地図では表現されない急斜面も多く、なかなか歩きごたえのあるルートだった。一般登山道に入ってから崩落箇所や凍結箇所、滑りやすい急斜面が随所であり簡単では無かったが、好天に恵まれ、怪我もなく楽しく歩けた。「奥久慈半端ねえ！」



男体神社まで無事下山

井戸



山行記録書

個人		計画者		前田 周祐		記録者		大下 みつ江					
山名		トノ権現(飯能アルプス)		山域		奥武蔵		山行目的		子ノ権現(足腰の神様)詣で			
ルート		尾根		経験者		有り		氏名		前田			
山行期間		2024/1/28		日		～		日帰り		交通機関		車+電車	
宿泊手段		費用		2,600円		集合		ピックアップ		帰 柏		19時15分	

ルート図



■特記事項(コースの特徴・注意事項)

西吾野駅から本陣山、イモリ山を經由子ノ権現に年始詣り(足腰の守護)、スルギ坂・前坂までも破線ルートをです。前坂から実践ルートを歩き、大高山・天覚山までは飯能アルプスを歩き東吾野駅へ下る。足場の良くない破線コース続きなので注意して歩く

■参加者(名)

CL前田 SL大下 伊藤 大橋

■リーダーコメント

天気にも恵まれ、今年の安全祈願を足腰の守護である子ノ権現でできました。裏山の鐘撞き堂からはスカイスリーもバッチリ。大高山への岩がちなルートに加え、天覚山から尾根ルートで下ることができました。皆さん健脚揃いだったので完登できました。ありがとうございます。

日程・コース	柏周辺ピックアップ5:00⇒5:15流山IC⇒外環自動車⇒狭山日高IC⇒6:35東吾野駅6:49⇒7:00西吾野駅→7:10 登山口→7:38森坂峠→7:50本陣山→7:55森坂峠→8:30イモリ山→柿の木峠→9:30子ノ権現10:10→10:40スルギ→11:40板谷の頭→12:12前坂→13:00大高山→14:32天覚山14:40→尾根コース分岐→15:25登山口→15:30東吾野駅15:45⇒16:10温泉17:30⇒17:35狭山日高IC⇒(圏央道)幸手IC⇒国道16号線⇒19:15柏周辺
	所要時間8時間38分(休憩時間込み) ・ 距離数 16、5キロ

■山行報告

土曜日の早朝、高速道路の渋滞もなく予定より30分くらい早めに到着した。東吾野駅駐車場に車を置き、西吾野駅まで電車移動した。この場所が今回のスタートとなる。第一の目標の本陣山までは、寒さで手袋も離せない状態、身体を馴らした。森坂峠からしばらく進むと、尾根のその先は不思議な名前のイモリの居ないイモリ山、破線ルートを気を付けなが進むと、赤いぼり旗に初詣の文字、子の権現に到着した。山門の先には仁王様、紅梅、ロウバイ、福寿草、鐘撞堂と例年通りに私達を迎えてくれた。今回も足腰の安全を祈願し、お守りを授かった。この先は飯能アルプス、小さな表示の方向に進むと、岩場のアップダウンを繰り返す。枡屋の頭をすぎると細尾根、急降下、足元には充分注意が必要。岩場もなかなかスリルがあった。木の根がむき出しの階段を登ると、その先は大高山。最後の山、天覚山まではなんちゃって頂上を繰り返しての登頂、少しバテ気味になった。しかしながら展望も良く、飯能市や西武ドーム球場も見えた。長い道のりでしたが、天候に恵まれ、温泉も堪能し楽しい山行でした。帰りのルートは狭山日高IC⇒幸手IC(圏央道利用)⇒16号線⇒柏。良いルートでした。



朝日の中、破線ルートを登る



大高山で自撮り



神仏習合の寺 子の権現天龍寺

山行記録書

			計画者		山本尚徳		記録者		山本 久美子		
山名	大石林山・与那覇岳・名護岳		山域	沖縄		山行目的	沖縄山旅				
ルート	尾根	経験者	無し	氏名				交通機関	飛行機+レンタカー		
山行期間	2024/1/28	日	～	2024/1/31	水	宿泊	三泊四日				
宿泊手段	ホテル	費用			集合	自宅/5:20		帰 柏	18:30		

50年振りに沖縄へ行ってきました。北部のやんばる原始のエリア大石林山、沖縄本島最高峰の与那覇岳、日本一早咲桜の名護岳をメインに沖縄縦断山旅3泊4日をお天気に恵まれ歩きました。日の出、日没が遅く計画より出発時間が遅い行動となりました。3座とも低山ながら紺碧の東シナ海を臨み、標高の割にはアプローチが長く亜熱帯植物に囲まれた滑りやすい琉球石灰岩の登山道を慎重に歩き標高だけでは図れない南国の沖縄山行を楽しみました。

1/29 大石林山(だいせきりんざん)250m

奇岩・巨石コース(11:30)→美ら海展望台コース→ガジュマル森林コース(13:00)

沖縄本島最北端、2億5千年前に海の中で形成された石灰岩が地殻変動により隆起し古代から受け継がれた景観が楽しめます。奇岩の中にはゴリラや龍、イグアナに類似した巨岩もありました。美ら海コースの展望台からは鹿児島県与論島が近くに望めました。ガジュマル森林コースは不思議な神秘の世界、映画「ゲゲの鬼太郎」の撮影地でもありました。期待した天然記念物のヤンバルクイナには遭遇しませんでした。

1/29 与那覇岳(よなはだけ)503m

与那覇岳登山口回(13:30)→記念碑(14:00)→山頂分岐(14:11)→与那覇岳山頂(14:45)→記念碑(15:25)→与那覇岳登山口回(15:50)

沖縄本島最高峰の与那覇岳へ移動、登山口をスマホナビに頼り失敗、道の駅ゆいゆい国頭(くにがみ)併設の観光課へ戻り道順を教えて頂き無事に登山口駐車場へ到着。何かトラブルがあったらしく警察官がおり、遅い時間からの入山の安全を確認、ルートを外れると遭難が多く捜索が困難なので絶対にルートから外れない旨の厳重注意を受け入山を開始しました。登山道は亜熱帯植物に覆われ日差しが届かず幾筋の沢水が行く道を湿らしていました。標高差は無いものの倒木を跨いだり潜ったりのアドベンチャーな登山道でした。山頂は10畳ほどの広場、同じような下山道が6ヶ所程、間違えると遭難すると事前情報を得ていたのでしっかり黄色テープを目印に付けました。日没が遅く下山時刻まで日差しはありましたが、通常は入山しない時刻でしたので緊張感が増しました。アプローチが長く、海の眺望は1箇所のみでした。

1/30 名護岳345m

名護中央公園回(9:14)→名護岳分岐(10:05)→名護岳山頂(10:30)→東屋→名護中央公園回(11:33)

日本一早咲きの桜が観られる名護岳、色鮮やかに咲く桜の傍らには桜まつりの看板が立っていました。観光客も利用する公園駐車場から出発、名護岳登山口分岐まで1時間ほど舗装道路を歩きました。登山口からいきなりの急騰、手足をしっかりと使い登りました。山頂から360度パノラマ海も望む気持ち良い眺め、名前知らずの黄、白、ピンクの小花も咲いていました。蝶や野鳥も多く、毛虫を見つけたのには驚きました。東屋へ向かう下山道は階段が多く、コース選びが良かったです。山頂は私達のみでしたが山中で登山者と出会い、知名度がある人気の山だと実感しました。

沖縄の自然は美しく楽しい島でした。琉球独自の歴史と本州とは全く異なる動植物の生態、サンゴ礁のある青い海と自然遺産、世界遺産と見所が多く計画をほぼ満喫した山旅でした。



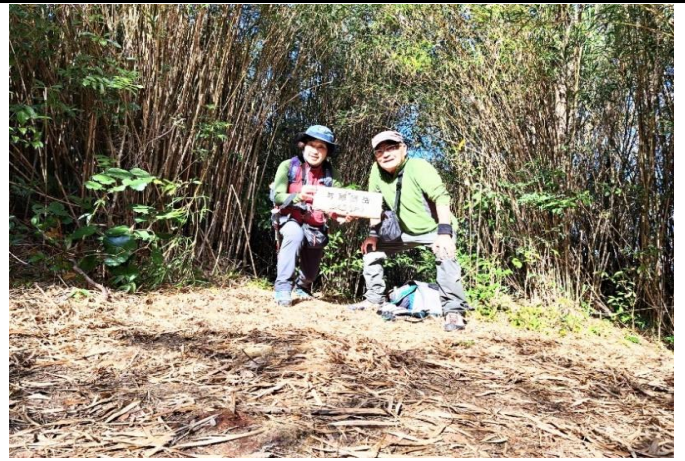
大石林山/奇岩・巨石コース



大石林山/美ら海展望台・与論島を望む



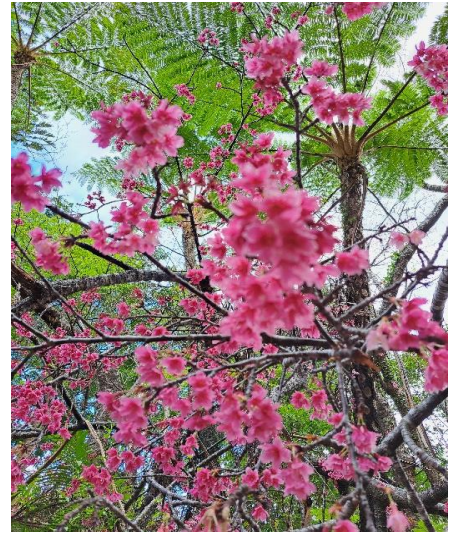
与那覇岳/記念碑



与那覇岳/山頂



名護岳/山頂



名護岳/ヘゴシダと桜



宇古利大橋



ジンベイザメがいる/沖縄美ら海水族館



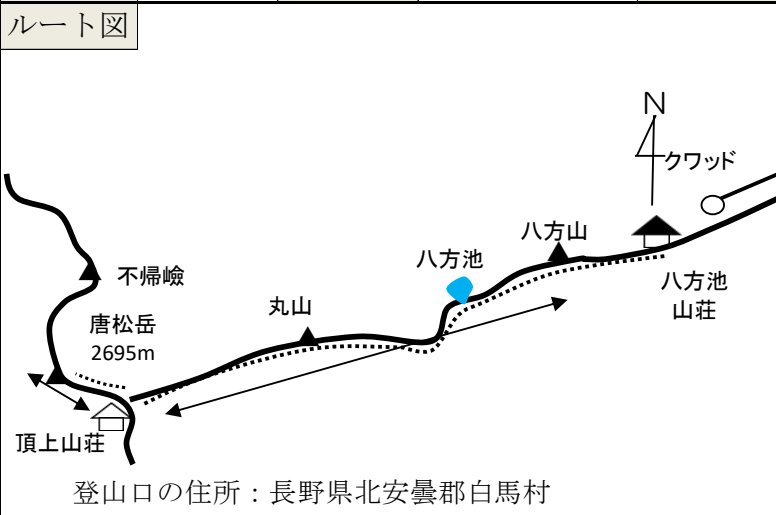
世界遺産/今帰仁城跡(なきじんじょうあと)



日本最大鍾乳洞 / 玉泉洞

山行記録書

企画		計画者		伊東 春正		記録者		牧野 安弘	
山名	唐松岳		山域	北アルプス		山行目的	安全登山学校 (中級雪山訓練)		
ルート	尾根	経験者	無し	氏名			交通機関	車	
山行期間	2024/2/3	土	～	2024/2/4	日	宿泊	一泊二日		
宿泊手段	山小屋	費用	28000円		集合	柏駅	帰 柏	19:40	



■特記事項(コースの特徴・注意事項)
 1日目：八方池付近で訓練
 2日目：唐松岳頂上をめざす。
 危険箇所はないが、ゴンドラの運行時間があるので、タイムリミットを設ける。

■参加者 (7名)
 伊東 春正(CL)・小金井 由紀子(SL)・荒井 一昭・飯島 玉枝・牧野 安弘・小野寺 万里子・伊藤 正則

■リーダーコメント
 唐松岳は中級雪山訓練に適したコースでした。距離が長く、急登あり、やせ尾根あり、強風の中、全員が登頂できよかったです。帰宅後の翌日は、大雪で高速は通行止めになっており運もよかったです。

日程・コース

【1日目】 柏6:00⇒外環道・首都高・中央道[7:45談合坂SA・9:05諏訪SA休憩]⇒9:40安曇野IC⇒10:50八方第2駐車場11:20⇒11:45 ゴンドラリフト・クワッドリフト2本⇒12:15八方池山荘着(荷物整理～訓練準備)13:00八方池山荘出発⇒14:00八方池14:10⇒14:50～15:40八方池山荘近くの斜面で訓練⇒15:50八方池山荘(泊)

【2日目】 八方池山荘5:00⇒6:00八方池分岐⇒6:10第3ケルン⇒6:50下ノ樺⇒7:10上ノ樺7:20⇒8:00丸山8:10⇒9:15唐松岳頂上山荘⇒9:45唐松岳9:55⇒10:30頂上山荘⇒11:10丸山⇒11:55八方池⇒12:20八方池山荘(荷物整理～休憩)⇒13:30 クワッドリフト2本・ゴンドラリフト 14:00⇒14:20八方の湯15:00⇒上信越道 長野IC⇒寄居SA⇒19:40柏

■山行報告
 白馬八方尾根スキー場のゴンドラとリフトを利用し、標高1830mの八方池山荘から尾根を登って唐松岳山頂(2,696m)に登った。ガイドブックによると「日帰りも可能なコース」とのことだが、今回は八方池山荘に宿泊し「初日は訓練・2日目に山頂を目指す」計画で時間的に余裕があった。山頂に登るといふ目的は達成できたが、山頂ではガスってしまい展望が得られなかった。その時以外は天候に恵まれ、不帰ノ陰・白馬三山・五竜岳・鹿島槍ヶ岳などの雄大な景色を眺めながら歩くことができた。

【1日目】 行きは所沢・鶴ヶ島間で事故渋滞との情報があり「上信越道ルート」から「中央道ルート」にルート変更。中央道は渋滞もなく10:50に八方第2駐車場に着く。駐車場からスキー場まで15分程、白馬の街を歩く。スキー場に近づくとつれ、外国人観光客が多さにびっくり。日本人より外国人(欧米系)のほうが多い。「ここは日本？」という感じ。スキー場でゴンドラとリフトを乗継ぎ30分で八方池山荘に到着。1日目は訓練。山荘から1時間ほど登り訓練予定地の八方池に着くと、雪が少なく雪洞を掘れそうな場所がない。山荘付近で場所を探すことになり、下山。山荘手前の北側斜面に場所を決め、約1時間、雪洞掘りとワカンの装着訓練を行った。

【2日目】 5時にヘッドランプを着けSLを先頭に出発。先行者は見当たらない。広い尾根を約1時間歩き八方池に着く、池は全く見えず雪原になっている。途中、小休止を挟み8時に丸山に到着。予定より遅れ気味だったが、丸山から山頂まではいいペースで歩け、最終タイムはほぼコースタイム通りの7時間30分であった。このコースはガイドブックで「雪山入門コース」として紹介されているが、歩行距離:9km・高低差960m、丸山から先は痩せ尾根・切れ落ちた登山道・アイスバーンの登山道があり、入門コースとは思えない歩き応えのあるコースでした。



初日、八方池で白馬三山をバックに



2日目、唐松岳山頂・残念ながら展望は得られず



ゴンドラとリフトを乗り継いで八方池山荘へ



八方池山荘に到着



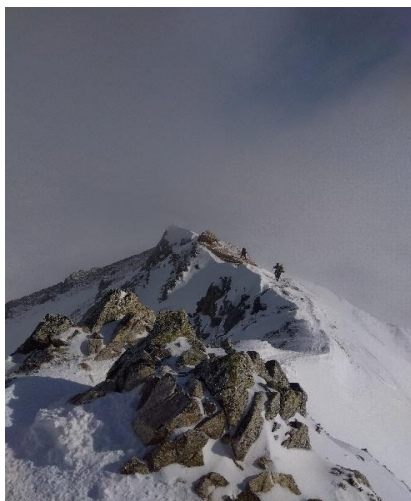
訓練予定地の八方池へ



山荘では貸切の個室でした
夕食はビュッフェスタイル(すきなもの、好きなだけ)



雪が少なく雪洞はこんな感じになりました



唐松岳頂上山荘 手前の切れた尾根



唐松岳山頂 直前の急登



八方尾根全景

山行記録書

個人	R6. 1. 21	計画者	前田 周祐	記録者	横田 かすみ
----	-----------	-----	-------	-----	--------

山名	蔵王山		山域	奥羽山脈南部	山行目的	スノーシューで樹氷を楽しむ		
ルート	尾根	経験者	有り	氏名	前田		交通機関	車
山行期間	2024/2/10	土	～	2024/2/10	土	日帰り		
宿泊手段	別荘	費用	10,000円		集合	別荘	別荘	23:00

ルート図



■特記事項(コースの特徴・注意事項)
 蔵王ロープウェイ山頂駅から地蔵山経由で熊野岳へ登る。下りは地蔵山迄戻り、樹氷高原駅まで樹氷の合間を縫って下る。危険箇所：地形が平坦なため、目標物を確認しづらいことから吹雪の時は、道迷いに注意する。

■参加者 (8名)
 前田=CL 荒井=SL 装備=佐藤 救急=飯島
 記録=横田 会計=若林 樫本 太田

■リーダーコメント
 快晴の熊野岳と、樹氷高原まで下りのモンスターを縫って下るのは最高でした。RW待ちだけでなく多々誤算のあった1日でしたが、皆で楽しめて良かったです。

登山口の住所：山形県山形市蔵王温泉

日程	4:00起床、5:15別荘出発⇒5:25那須高原スマートIC⇒6:25～6:40吾妻PA⇒7:30山形蔵王IC⇒8:00駐車場
コース	8:40～10:45(待ち時間)蔵王ロープウェイ山麓駅⇒10:50～10:55樹氷高原駅⇒11:02地蔵山頂駅 11:35地蔵山頂駅発⇒11:55地蔵山→12:30～12:40熊野岳→13:10地蔵山→15:35樹氷高原駅 15:40～16:50(待ち時間)⇒16:57蔵王ロープウェイ山麓駅⇒17:20駐車場 源七露天の湯17:40～18:55⇒中華屋19:45～20:30⇒20:35山形蔵王IC⇒21:45吾妻PA⇒22:40那須高原スマートIC⇒23:00別荘着

山行報告

早期から混雑し、やっと第3駐車場に車を駐めることができた。リフト券販売開始と同時にロープウェイ乗車1時間30分以上待ちのアナウンスと長い行列にテンションが下がる。観光客が多く、3連休初日は予想以上の人出だった。列に並んだがなかなか前に進まず、長時間の立ちっぱなしは、低体温症になりそうなくらい寒かった。諦めることなく長時間待ったメンバーの忍耐力は素晴らしい！ロープウェイに乗車し山頂に到着したのは、11時を過ぎてしまい登山開始時間がかかなり遅れたが、ピーカンの天気とコバルトブルーの空の下に広がる銀世界に歓声があがる。熊野岳までは、ハイペースメンバーで登頂し、スローペースメンバーは、無理せず登れるところまで行き、ハイペースメンバーが下りてきたところで合流した。

地蔵山に戻るところには曇り空になり天気の急変に戸惑いを感じたが、アイゼンからスノーシューまたはワカンに履き替え、樹氷高原駅まで歩いて下ったのは、迫力あるモンスターの景観を間近に見ることができたので正解だった。

駅から下りのロープウェイ乗車は、またしても大混雑。雪が舞う中、1時間待ちとなる。ロープウェイ待ち時間が長過ぎた忍耐の山行であった。

気付いた点：①樹氷の時期の蔵王は避けた方が無難(特に土日祝)。②山の天候の変化に注意する。③装備装着は、現場でまごつかないよう各自練習してから山行に臨む。④個人の判断で行動はせず、リーダーの指示に従う。



2時間以上待ち



モンスター最高！



急斜面を下る



絶景



山行記録書

個人		計画者		小金井 由紀子	記録者	小金井 由紀子	
山名	筑波連山縦走		山域	八溝山系	山行目的	トレーニング	
ルート	尾根	経験者	有り	氏名	小金井	交通機関	車・バス
山行期間	2024/2/10	土	～		日帰り		
宿泊手段		費用	1,000円	集合	柏駅	帰 柏	
ルート図						<p>■特記事項(コースの特徴・注意事項)</p> <p>舗装路箇所も含め、総距離およそ30キロを歩く。</p> <p>■参加者(名)</p> <p>小金井</p> <p>■リーダーコメント</p>	

日程・コース

柏⇒(車)5:40りんりんロード休憩所6:00⇒筑波山入口⇒(御幸ヶ原コース)8:00筑波男体山⇒8:20女体山⇒11:00きのこ山⇒12:00足尾山⇒一本杉峠⇒丸山⇒ウィンドパワーつくば風力発電所⇒13:00加波山⇒燕山⇒14:50雨引山⇒御嶽山⇒13:59岩瀬駅⇒16:02(バス)17:12筑波山登山口⇒17:15りんりんロード休憩所⇒柏

■山行報告

筑波神社でお参りしてスタート。歩き出して30分ほどすると雪が出てくる。標高700過ぎると登山道はアイスバーンとなり、軽アイゼン装着。ノーアイゼンの登山者は上からお尻で滑って下りていた(その後もノーアイゼンの登山者多数見かけたが、みなさん、下れたのか心配)。女体山からキャンプ場への下りは丁度よい積雪で歩きやすく非常に快適だった。湯袋峠で猪2頭と鉢合わせ、すぐに逃げてくれたので助かった。雨引山までの北面はまだ雪が多く残っており、加波山の下りでもアイゼンを付けた。危険箇所はないコースだが、休憩も含めコースタイムを通常の0.85で設定したため、計画書の時間に追われる感じになってしまった。心拍数がかなり上がり良いトレーニングにはなったが、バス出発3分前にゴールするという余裕のない山行だった。総距離30.8キロ 累積標高2280m 所要時間10時間。

筑波山 山頂はまだ雪がいっぱい



歩いた山々



山行記録書

個人		R6.1.21	計画者	前田 周祐	記録者	若林 康裕
山名	甲子山・旭岳		山域	南会津	山行目的	雪歩きを楽しむ
ルート	尾根	経験者	無し	氏名	交通機関	車
山行期間	2024/2/11	日	～	2024/2/11	日	日帰り
宿泊手段		費用		集合	柏駅	帰宿 16:00
ルート図						<p>■特記事項(コースの特徴・注意事項) 猿ヶ鼻まで急登あり。樹林帯ではあるが下山時はピッケル使用が好ましい。</p> <p>■参加者(名) CL前田、SL横田、荒井、飯島、若林</p> <p>■リーダーコメント 小雪の舞う中ルートファインディングしながらジグザグを進み、水戸の山の会メンバーとともに新雪をキックステップしながら直登したりと、途中撤退になりましたが、下りはピッケル駆使して急斜面を下るなど図らずもいい訓練になりました。早く下山したので甲子温泉・大黒屋のいいお湯をゆっくり楽しむことができました。</p>
登山口の住所：福島県西白河郡西郷村						

日程・コース	<p>2/11 那須別荘地6:30⇒国道4号線⇒県道281号線⇒国道289号線⇒7:30大黒屋登山者用駐車場 駐車場8:00⇒8:10登山口⇒8:24温泉神社⇒10:40猿ヶ鼻10:50⇒11:00 1285m地点 (メンバーの体調不良により山行中止) ⇒11:20猿ヶ鼻⇒13:00温泉神社⇒13:20登山口⇒13:25駐車場 大黒屋15:15⇒国道289号線⇒県道281号線⇒国道4号線⇒16:00那須別荘地</p>
--------	--

■山行報告
時折晴れ間が見えたがずっと曇り。常に小雪が舞っていて展望はほとんどかなわなかった。こんな日にほかに登山者はいないだろうと思ったら、駐車場に後から3台車が入場してきた。彼等は水戸から来た山岳会の者達であった。
この登山道は甲子トンネルが開通するまでは国道289号線に指定されており、地形図上の登山道を表す点線になぞらえて「点線国道」と呼ばれていた。
途中の急登はその甲子トンネルを越えた辺りから始まる。高さ150m水平距離260m角度36度の斜面である。夏道は九十九折なのだが先行してラッセルしていた先ほどの山岳会が最後の80mを直登したのでそれに従ったら、新雪のせいもあり雪が柔らかく蹴り込んでも崩れるばかりであった。彼等は雪訓で来ており直登も訓練のうちであったが図らずも自分たちもそれに倣う形となったが、いい経験だったと思う。
この急登に時間を取られたのとメンバーに体調不良を訴える者がおり、猿ヶ鼻を超えた先で撤退を決めた。今度は急登の下りであるが安全確保のためピッケルを使用した。
無事に下山し、大黒屋の秘湯を堪能して帰路についた。



スタート地点



急斜面を下る

山行記録書

個人		R6. 1. 21	計画者	前田 周祐	記録者	飯島 玉枝	
山名	スッカン沢	山域	矢板・塩原	山行目的	スッカン沢の氷瀑を楽しむ		
ルート	尾根	経験者	有り	氏名	若林康裕	交通機関	車
山行期間	2024/2/12	月	～	2024/2/12	月	日帰り	
宿泊手段		費用	4,000円	集合	柏駅	帰 柏	19:00/20:00

ルート図



■特記事項(コースの特徴・注意事項)
 冬の氷瀑を観るハイキングコース、一部道が荒れているところもあるが、あまり危険な箇所は無い。山の駅たかはら駐車場から反時計回りで周回した。今年は暖冬のため、氷柱・氷瀑は育たず細いツララだけであった。

■参加者(名)
 CL若林、SL前田、佐藤、荒井、横田、樫本、0氏(会員外)、飯島(8名)

■リーダーコメント
 氷瀑が迫力なくて残念でしたが、溶け落ちる前に見られてよかったと思います。危険箇所は通行止め区間の崩れて荒れた箇所ぐらいでしたが特に問題なく通過できていました。天候にも恵まれ楽しくスノーハイクができたと思います。

2/12
 日程・コース
 別荘7:00⇒8:00山の駅たかはら駐車場
 8:30山の駅たかはら駐車場のトイレ脇から出発(天気快晴 気温-1℃)→9:50雷霆の滝→10:30咆哮霹靂の滝→12:00雄飛の滝、素簾の滝、スッカン沢→13:20車道(ゆうひ橋)→15:20山の駅駐車場 休憩(写真撮影)1時間30分、距離8.6Km、登り下り704m、歩行時間6時間50分
 16時現地解散⇒19時流山着(温泉よらずにコンビニ休憩1回で一般道経由)、20時半柏着(矢板温泉まことの湯・夕食後一般道経由)
 一般道:県道56号線⇒県道30号線⇒国道4号線⇒国道408号線⇒国道294号線⇒県道47号線⇒国道6号線

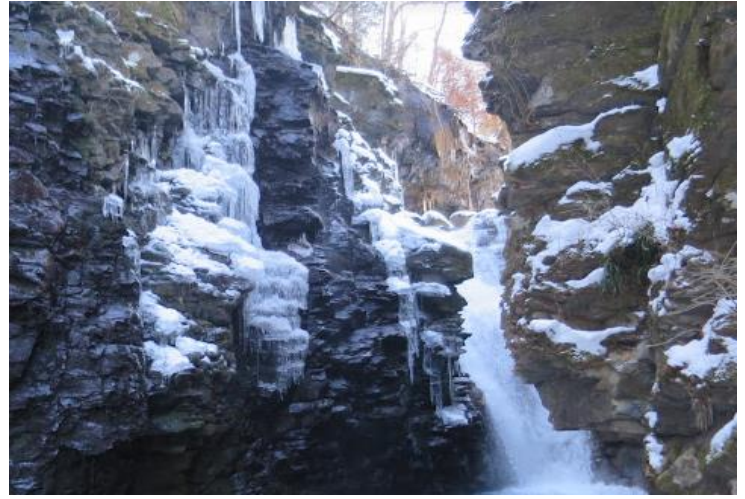
■山行報告
 天気に恵まれ、にぎやかで楽しい山行となった。例年はスノーシューで歩く様だが、今年は暖冬で雪が少なく、ツボ足でも歩けるくらいだったが、一応アイゼンをつけて出発。青く美しい巨大な氷柱は期待してはいなかったが、やはり、やせて細いツララばかりだった。しかし、細い氷柱もそれなりに美しく、柱状節理を観察することもできた。ゆっくりしたペースで歩き、地形を観察したり写真を撮るたくさん撮ったりした。最後の車道(冬季通行止めで除雪されていない)歩きが長くて大変だったが、途中尾根ひとつショートカットして楽しく歩けた。



氷瀑の前にて



雄飛の滝展望台



雄飛の滝

滝が凍ってない〜と咆哮する



← ツララが小さいので
柱状節理が良く見える

スッカンプルー
↓



車道をショートカット



長寿の滝
銘水？

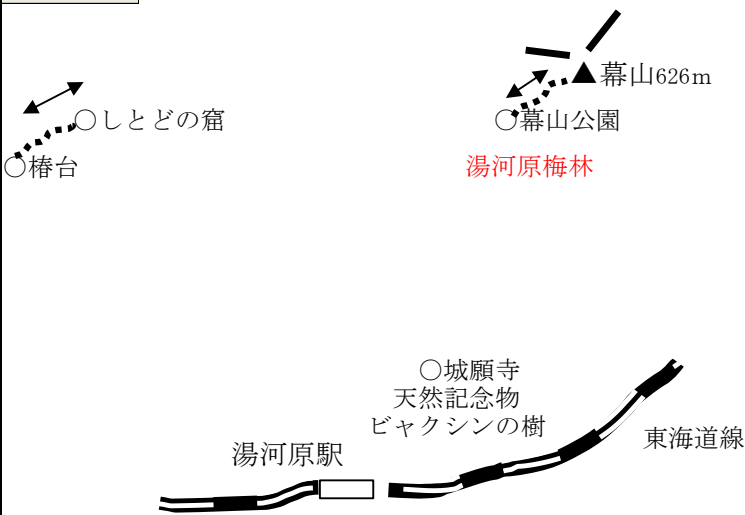


お疲れ様でした。
車道歩き終了
駐車場に雪は無し

山行記録書

個人		計画者		山本 尚徳		記録者		西山 昭則	
山名	城山・幕山		山域	熱海・箱根		山行目的	鎌倉幕府開運街道を歩く		
ルート	尾根	経験者	氏名	幕山:山本尚, 久, 木村, 西山			交通機関	車	
山行期間	2024/2/13	火	～			日帰り			
宿泊手段		費用	3,400円		集合	柏駅6:30	帰 柏	20:00	

ルート図



源頼朝ゆかり歴史の山を海を眺め歩きます。土肥一族の墓所でもある城願寺には樹齢800年天然記念物のビャクシンの樹があります。しとどの窟は頼朝が数日隠れ九死に一生を得た場所、城山隧道近くには90体の弘法大師像が並び、地藏信仰の霊域となっています。幕山登山口の幕山公園は4千本の梅が咲き(梅の宴)梅祭りが開催中です。危険箇所：特に無し

■参加者：山本尚(CL)山本久(SL)西山(記録)国友(装救)菊地(会計)木村

■リーダーコメント
鎌倉幕府開運街道、縁起の良いコースでした。渋滞にハマリ計画を変更してピストンで実施しました。反省点として1, 集合時間を早く設定した方が良かったのか2, 幕山登山を優先など考えられました。城山から幕山縦走路は入山者が少なく、登山道が荒れていそう、しとどの窟は外せないポイントでしたのでやはり明るい時間帯がベストだったと自負します。皆さんの笑顔に助けられました。

■山行報告
柏出発6:40⇒柏IC⇒東名厚木JCT⇒小田原厚木同道路経由⇒湯河原駅⇒11:00城願寺=天然記念物ビャクシン(柏榎)の木12:00しとどの窟(頼朝と部下8人が隠れた窟)12:30出発⇒13:30幕山公園(昼食)→湯河原梅林14:00幕山登山①16:00幕山下山=岩登りのゲレンデとして有名、8合目迄をピストン16:30湯河原駅ウエストでコーヒーブレイク後出発20:00帰柏※往路は大渋滞の為2時間遅れで湯河原着。この為城山からの縦走は諦め登山は幕山のピストン(8合目)とした。

春の陽気に恵まれましたが高速道路は大渋滞、計画より2時間遅れで湯河原に到着しました。土肥氏の菩提寺、成願寺の樹齢八百年天然記念物ビャクシンの樹を仰ぎ見ました。縦走計画を諦め、しとどの窟と幕山を夫々にピストンしました。しとどの窟は石橋の戦いで大敗の頼朝が逃げ隠れ、大河ドラマで中村獅童さん演じる景時に九死に一生を得る名場面の窟です。急坂を下り昼なお暗く窟の上から水も流れ落ち、最適の隠れ場所に感じました。車で移動、麓に4千本の梅が咲く湯河原梅林が幕山登山口です。登山道は梅の香りを楽しみながら登り、岩場ではクライミングのメッカらしく2組が訓練中でした。紺碧の駿河湾に地図通りの形で真鶴半島が突き出ていました。有料駐車場の締切時間の都合で八号目で下山となりました。帰路には湯河原老舗のウエストで地元グルメでほっこり気分となりました。想定外の渋滞もあり反省点も散見しますが参加者の皆さんの笑顔から「鎌倉幕府開運街道」縁起の良いコースの満足感が伝わりました。



成願寺の天然記念物
樹齢八百年ビャクシンの樹

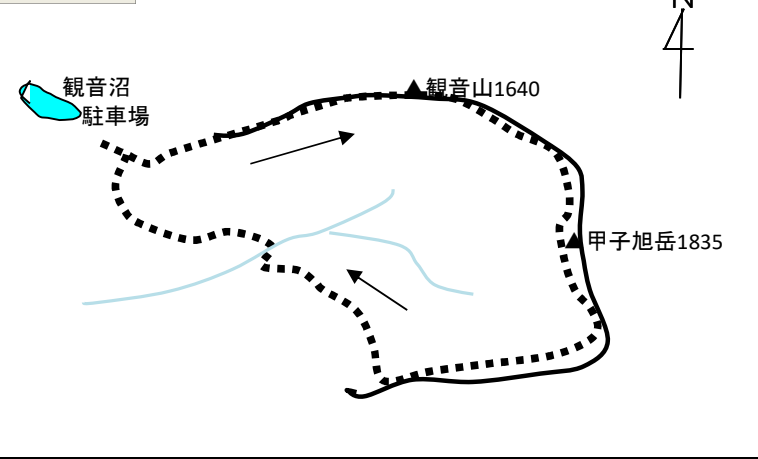


しとどの窟

山行記録書

個人		計画者		小金井 由紀子		記録者		伊東 春正	
山名	観音山・旭岳		山域	那須連山		山行目的	冬期限定の山に登る		
ルート	尾根	経験者	無し	氏名			交通機関	車	
山行期間	2024/2/17	土	～	2024/2/18	日				
宿泊手段	ホテル	費用	12,000円		集合	各ピックアップ	帰 柏	21時	

ルート図



■特記事項(コースの特徴・注意事項)

積雪時しか登れない山。観音山までは尾根沿いを歩き危険箇所はないが、旭岳手前と山頂直下の下りは痩せ尾根もあり十分に気を付ける。天気が良ければ三本槍ヶ岳、二岐山が良く見える。

■参加者(名)

小金井(CL)、牧野(SL)、前田'(会計)、伊東(記録)

■リーダーコメント

昨年度計画したが悪天候で中止で今年再チャレンジ。天気とメンバーに恵まれてほぼ予定通りに歩くことができた。思っていたよりも怖い箇所多く、思い出に残る山のひとつとなった。

日程	前日
・	13:00前田 小金井ガレージ⇒13:05伊東⇒13:50牧野(セブン守谷大柏)⇒谷和原IC⇒白河IC⇒16:20白河ビジネスホテル
コース	当日
ス	ホテル5:00⇒6:00観音山登山口6:30→9:20観音山→12:20旭岳→大峠林道→15:35登山口⇒日帰り温泉 癒しの刻17:30⇒白河IC⇒20:10谷和原IC⇒21:00柏

■山行報告

観音山登山口に6時に到着し、運よく1台分のスペースが空いていた。気温は高く、風もない絶好の山行日和である。

観音山までは樹林帯歩きで雪は締まっていたが、踏み抜きが多く、慎重に歩行した。

観音山から先はアイゼンからワカンに履き替えて進んだ。スノーモンスターは残念ながら解け落ちていた。

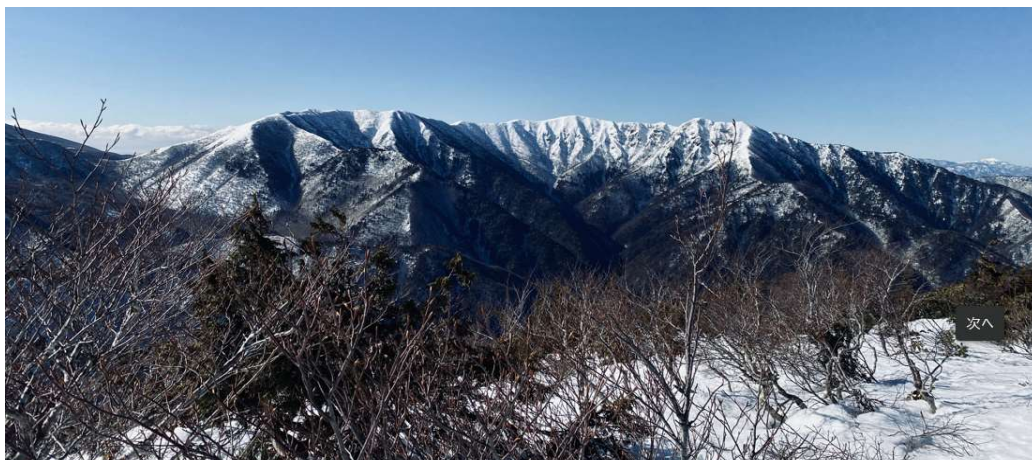
旭岳手前のコブまでは危険箇所もないが、コブ越えは急登でピッケル必須で体力を要した。

コブから先は痩せ尾根区間があり、痩せ尾根に降りる箇所は、高さ2mほどの足場の無い垂直な段差があり、ピッケルも効かないため岩を掴んで慎重に降りた。

旭岳頂上からは、那須連山、磐梯山など見事な眺望だった。

旭岳から先は林道までは尾根筋の雪道を、踏み抜きを繰り返しながら慎重に下った。予定より30分遅く9時間の所要時間だった。

全行程で出会ったのは数人で、静かな雪山を楽しめた。



観音山山頂より裏那須